●2024-25 年度
国際ロータリー テーマ
ロータリーのマジック
RI 会長 ステファニー A. アーチック

Rotary
東京八王子西
ロータリークラブ

Weekly Report

2024-25 No.16 令和７年５月９日

●会長標語 ―― 会長 山口 覚 ―― 温故知新そして進化!

今週のプログラム		次回のプログラム	
●第 2816 回（5/9） ●会場 京王プラザホテル八王子	＊三祝 ＊イニシエーションスピーチ 髙橋由美子会員	●第 2817 回（5/16） ●会場 八王子カントリークラブ	＊移動例会 ＊卓話：プロゴルフツアーコーチ坂詰和久氏 テーマ「ゴルフの技術やメンタルの重要性とプロゴルフツアーの舞台裏」

卓話「千人同心の日光勤番と北海道開拓―八王子・日光・苫小牧の縁」

2025年4月18日

法政大学名誉教授 **馬場憲一氏**

千人同心の日光勤番と北海道開拓―八王子・日光・苫小牧の縁―

はじめに

八王子千人同心は八王子千人町（現・八王子市千人町）とその周辺の村落に居住していた江戸幕府直属の在郷武士団（郷士集団）であった。

今回の講演では、八王子千人同心の(1)八王子へ配置した目的、(2)任務としていた日光火の番（勤番）、(3)江戸時代後期に苫小牧（蝦夷地）に赴き行なった開拓の様子を話し、現在、姉妹都市で結ばれた八王子市と日光・苫小牧両市との縁の元となったその歴史を明らかにしていく。

※八王子千人同心の支配組織について

鑓（やり）奉行の下に編成されていた。

【1組の編成】（10組あった）

千人頭（1名）

⇦

組 頭（10名）

⇦

平同心（90名）

1．八王子千人同心の成立の配置の目的について

(1)徳川家康の関東移封

・天正18年（1590）6月～7月 天下統一をめざす豊臣秀吉によって八王子城、小田原城が攻められ戦国大名北条氏が滅亡する。

・天正18年（1590）8月1日 江戸御打入り＝徳川氏の関東入部⇩「八朔」と言った。

(2)徳川氏の関東領国体制の形成⇩家臣団の知行割、蔵入地（台所賄料）の設定

・多摩地域の支配体制―

①八王子代官の陣屋設置

②八王子千人同心の配置

(3)八王子千人同心配置の目的

・①甲州口（小仏口）の防衛②八王子周辺の北条氏旧臣の動きを警戒

2．日光火の番（勤番）について

(1)江戸時代の日光

・二社一寺（東照宮、二荒山神社、輪王寺）を有する日光は徳川家康・徳川家光の霊廟が鎮座する場所であり、そこを安全に守護することは江戸幕府の重要な施策の一つであった。

(2)八王子千人同心の火の番任務の背景

・徳川氏による幕藩体制が確立し、戦乱のない世の中の出現（⇩三代将軍家光の時代。1630年～1650年の頃）。

・軍事的な機能を有する八王子千人同心の役割も薄らいできた。

・新たな任務として日光の防火警備が任務として加わることになった。

(3)江戸時代後期の火の番の実態

①防火警備の実状

・平日の見廻り―毎日朝四ツ時（午前10時）と夜半八ツ時（午前2時）の2回山内を見廻っていた。

・臨時の見廻り―強風や地震などの時に行っていた。

・その他の見廻り―毎月1度ずつ山内の裏手と町の見廻りを行っていた。

②勤番生活

・火の番屋敷に起居し防火警備にあたった。

・日常の生活は山内廻り、門番、櫓番などの勤務に服し、不定期に休日、髪結日があり、風の強い日などは臨時に見廻りをしていた。

・半年にも及ぶ長期間の勤番であり、風紀が乱れることもあり、千人同心が勤番で八王子を出発する前に「出番御法度書」に違反することがないように約束させていた。「出番御法度書」には在勤中の勤務内容をはじめ、喧嘩口論、小唄、浄瑠璃、賭け事の禁止など生活全般にわたり具体的な指示がなされていた。

③勤番の辛苦と防火隊碑

・千人同心川本衡山の漢詩集「于役口金草」に異郷での勤務の状況が詠まれている。

・千人頭は日光での客死者が慶安5年（1652）～文化年間（1804～18）までの約160年間に数十名におよんでいたので、合葬して弔い、日光の浄光寺に防火隊碑を天保5年（1834）に建立した。

(4)最後の日光火の番の役割と悲劇

①江戸から明治への移行期

・慶応4年（1868）正月鳥羽・伏見の戦い⇩徳川慶喜を朝敵として東征軍

（官軍）が進発する。
・慶応4年3月11日　東山道軍（官軍）、八王子へ進駐し、千人頭は恭順する。
・慶応4年3月15日　日光火の番中の千人頭荻原頼母が急死する。
・慶応4年3月25日　千人頭石坂弥次右衛門が代番として八王子を出発し、3月28日に日光に到着。
②日光明渡しと千人頭の自刃
・慶応4年閏4月1日　官軍参謀板垣退助、日光山内に入り、千人頭石坂弥次右衛門が出迎え案内する。
・慶応4年閏4月10日　千人頭石坂弥次右衛門、日光を引き揚げ八王子に帰着。日光明渡しについて他の千人頭と話し合うが、明渡しを非難され、翌11日明け方切腹し果てる。享年59歳。

3.八王子千人同心の苫小牧（蝦夷地）開拓

(1) 18世紀末～19世紀初めの江戸幕府の北方問題への対応
・寛政2年（1790）末、ロシアの南下政策に伴うロシアの進出に対し、江戸幕府は最上徳内（幕府勘定所普請役元締格）を蝦夷地御用に命じる。
・寛政11年（1799）、江戸幕府は東蝦夷地を上知し直轄地とする。

(2) 八王子千人同心の蝦夷地開拓の目的・任務
・北辺である蝦夷地の警備
・蝦夷地の開拓
・蝦夷地産物の販売と廻漕（江戸霊岸島の蝦夷地御用取扱所御用 ⇩千人同心の河西祐助、原新助らが勤める）
・千人同心側の事情 ⇩①千人同心子弟の就職問題、②千人頭の地位向上 ③寛政改革の人員削減（1000名が900名）による余剰人員への対応。

(3) 八王子千人同心子弟の蝦夷地開拓の経緯
・寛政11年（1799）3月、千人頭原半左衛門胤敦（53歳）は自ら千人同心の子弟を率いて蝦夷地の警備と開拓にあたりたい旨を江戸幕府に願い出る。翌年3月、蝦夷地の開拓と警備を命ぜられる。
・寛政12年（1800）3月20日、原半左衛門の弟新介（51歳）が43名を率いて八王子を先発する。
・翌3月21日、原半左衛門が57名を率いて八王子を出発する。
※距離は八王子→箱館（250里）、箱館→勇払（67里）勇払→白糠（144里）
※勇払には新介、白糠には半左衛門がそれぞれ50名ずつを率いていく。
・寛政12年4月にはそれぞれの開拓地に到着する。
・寛政12年、勇払川河口付近の耕作が試みられる。家づくり、道づくりに追われる
・享和元年（1801）春、勇払地区から少し離れた鵡川（汐見）の地で開拓が本格的に始まり、40名余りが移住。
・文化元年（1804）2月、江戸幕府の蝦夷地経営の縮小により千人同心の開拓事業は取り止めとなる。
・文化5年（1808）春、鵡川畑作場から千人同心が引き上げる。

(4) 八王子千人同心子弟の苫小牧開拓状況
・勇払・鵡川（汐見）両地区で警備・開拓・土木事業・交易
・道路建設などに従事。
・穀物類の収穫は入植2年後になっても成人1人分の飯料にも満たない状況であった。
・北辺の寒冷不順な気候や栄養失調によって風土病などに罹り死亡する者は第1陣100名のうち26名、同じく帰国者17名と続出し開拓は挫折に追い込まれる。
・享和3年（1803）5月22日、千人同心河西祐助の妻梅が幼い一男一女を残して25歳の若さで亡くなっている（⇩「夜泣き梅女」の伝説）。夫の河西祐助によって墓石に漢文の追悼文が刻まれている。
・江戸幕府の慰撫政策によって、現地住民（アイヌ）との交流もあったようで、原半左衛門は一時帰郷の折（文化2年2月）の宴席でアイヌの歌を披露している。

おわりに

八王子市は2024年11月17日に「八王子市と苫小牧・日光両市との姉妹都市盟約50周年事業」として「三都絆祭」を開催した。
三都の絆は八王子千人同心の歴史によってもたらされ、現在も三市が八王子千人同心の縁で強く結ばれていることを確認できます。
本日の講演を通して江戸時代に江戸幕府の特異な武士団として存在し多方面に活躍した八王子千人同心の歴史に思いを馳せていただければ幸いである。

【参考文献】

・村上直編『江戸幕府八王子千人同心』（1988年3月　雄山閣）
・『八王子千人同心史　通史編』（1992年3月　八王子市教育委員会）
・『日光市史　中巻』（1979年12月　日光市）
・『苫小牧市史　上巻』（1975年3月　苫小牧市）

例会報告

第2814回●2025・4・18（金）

◇司会　井上知巳会場監督補佐
◇開会点鐘　相川博副会長
◇Rソング
それでこそロータリー
ソングリーダー：松村　光会員
◇お客様のご紹介　法政大学名誉教授　馬場憲一様
◇食事と交歓　中華
◇出席報告
角田昌己出席委員長
会員118名中77名出席。出席率68・75％。前々回4月4日の出席率70・54％を73・21％に修正いたします。
◇ニコニコ発表
山本俊明財務委員長
◇会長挨拶　相川　博副会長

会長挨拶／相川博副会長

＊本日は山口会長に代わってご挨拶をさせていただきます。ここ1週間ほど咳が続いており2～3時間しか眠れない日々です。感染する咳ではないので、ご安心ください。
＊ある新聞の報道で、大手食品メーカーの「明治」が瓶入り

牛乳の販売を終了することを知りました。私は昭和23年生まれの団塊の世代ど真ん中ですので、瓶入りの牛乳で育ちました。

＊今はもう無いのですが、小学校４年生の時に八王子の大和田に新しく銭湯ができました。家にお風呂はあったものの温泉気分が楽しくて、友達と週に２回ほどその銭湯に通いました。お風呂上りに番台横の冷蔵庫から瓶入りコーヒー牛乳を取り出して飲むのが、とにかくおいしかったのを覚えています。

＊以前「浅川サバイバルレース」というイベントの立ち上げに関わった際には、当時八王子市内に12軒あった銭湯を３日に分けて巡り、瓶入りの牛乳を飲んでから解散していました。

＊いろいろな思い出の詰まった牛乳瓶が無くなってしまうのは、時代の流れとはいえ、とても寂しいです。ただ、「磯沼ミルクファーム」では現在も瓶での販売があります。我々は良い物を改めて見直していくべきと考えております。

◇**幹事報告**　塩野　明幹事

幹事報告／塩野　明幹事

＊来週４／25は日帰り旅行です。ご参加の方には昨日直前案内をお送りしました。7：45にホテル玄関前にご集合ください。ホテルフロント近くにメイクアップ用紙を用意します。

＊５／２は規定による休会なので例会はございません。次回の通常例会は５／９です。

＊メールボックスにウィークリー第15号を配付いたしました。

◇**スピーカー紹介**
平沼北斗プログラム委員長
スピーカー　法政大学名誉教授　馬場憲一氏
テーマ「千人同心の日光勤番と北海道開拓―八王子・日光・苫小牧の縁」

◇**閉会点鐘**　相川博副会長
謝礼贈呈

ニコニコボックス

●2025・4・18（金）

◆**山口会長**・本日、所用にて欠席させていただきます。相川会長エレクト、宜しくお願い致します。馬場憲一様卓話を宜しくお願い致します。

◇**塩野幹事**・馬場先生の卓話楽しみにしています。

◆**相川**・馬場先生の卓話楽しみです。会長挨拶のリハーサルをさせていただきます。

◇**立花**・馬場先生のお話楽しみにしています。

◇**馬場榮次**・法政大学の馬場先生をお迎えして。

（順不同・会員敬称略）

日帰り旅行（三島方面）

2025.4.25
米山梅吉記念館ほか

8:00 京王プラザホテル八王子出発→中央道・圏央道→厚木 PA（休憩）→東名道→沼津 IC→米山梅吉記念館見学→開会点鐘・出席ニコニコ報告・会長挨拶・幹事報告→閉会点鐘→三島【松韻】にて昼食→沼津港遊覧船クルーズ→買い物→沼津 IC→東名道→圏央道→中央道→八王子 IC→京王プラザホテル八王子到着

例会報告

第2815回●2025・4・25（金）

◇**司会**　草間剛会場監督補佐
◇**開会点鐘**　山口　覚会長
◇**お客様のご紹介**
公益財団法人米山梅吉記念館
副理事長　多田幸雄 様
（東京RC）
運営委員　関　則雄 様
（三島RC）
運営委員　竹村淳一郎 様
（伊豆中央RC）
大石和春パスト会長令夫人
智子様
角田昌己会員令夫人 房子様
山口覚会長令夫人 恵美子様
◇**食事と交歓**　和食
◇**出席報告**
北澤秀彦出席委員
会員118名中28名出席。
出席率25・00％。前々回4月11日の出席率59・28％を66・96％に修正します。
◇**ニコニコ発表**
大田吉彦財務副委員長
◇**会長挨拶**　山口　覚会長
＊本日は、三島の旅と言う事で公益財団法人米山梅吉記念館を訪ねることが出来ました。会長を務めさせていただきました本年度、この記念館を訪問することが私の悲願でした。自クラブでは、米山奨学会への寄付を普通寄付として毎年上期、下期を合わせて総額904,000円の寄付（半期会員一人あたり4,000円）と今年度も更に特別寄付二名（相川会長エレクト、三村会長ノミニー）が各10万円ずつのご寄付をしております。故・米山梅吉氏を語るには、東京ロータリークラブの歴史に触れる必要が有ります。東京ロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日（105年前）に世界で885番目のロータリークラブとして国際ロータリーに承認されました。その創立の準備に奔走されたのが米山梅吉氏と福島喜三次氏です。そしてロータリー米山奨学金は、1952年東京ロータリークラブが故・米山梅吉氏の功績を称え発足した「米山基金」が始まりです。二度と戦争の悲劇を繰り返さない、そして「平和日本」を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいとの強い願いでした。第一号として1954年タイ王国からの留学生1名に奨学金の授与をしました。それから70年後の現在、2024年度は、926人の奨学生に授与しています。全地区で約2,200のクラブから年間で約16億円の寄付金により約15億円の奨学金を授与しています。外国人留学生を対象とする民間奨学金では、国内最大規模です。累計奨学生は、24,133人です。出身国は、133の国になります。
故・米山梅吉氏は、1946年（昭和21年）78歳でご逝去されています。その4年前、1940年（昭和15年）に勃発した第二次世界大戦の波に呑まれ、国際ロータリーから脱退という経験をしています。米山梅吉氏没後の3年後、1949年（昭和24年）3月に国際ロータリーに復帰を果たしますが故・米山梅吉氏は、復帰を見ずしてご逝去されたことは、残念なめぐり合わせです。今日は、ロータリーの過去100年という歴史に触れる旅に成りました。
◇**幹事報告**　塩野　明幹事
＊来週5／2は規定による休会です。
◇**ご挨拶**
公益財団法人米山梅吉記念館副理事長　多田幸雄様
謝礼としてPタイ贈呈
◇**閉会点鐘**　山口　覚会長

ニコニコボックス

●2025・4・25（金）
◆**山口会長**・親睦家族委員会の皆様、準備を有難うございます。ご参加の皆様有難うございます。
◇**塩野幹事**・本日は日帰り旅行よろしくお願いします。親睦のみなさんよろしくお願いします。
◆**大石**・今日は楽しみにして来ました。
◆**長尾**・親睦日帰り旅行をとても楽しみにしておりましたが、急用が入り参加することができなくなりました。皆様の楽しいご様子を後日伺えるのを楽しみにしております。どうぞお気をつけて！
◆**山本俊明**・日帰り旅行に参加できなくて申し訳ありません。
◇**大田、田村**・有難う御座います。
◇**馬場榮次**・親睦委員の皆様ご苦労様です。朝食のサンドイッチおいしかったです。ありがとう。
◇**岡本**・楽しい一日ありがとう。
◇**石森、金子**・親睦の皆さん、ご苦労様です。
◇**神辺**・日帰り旅行に仕事の関係にて参加できず申し訳けございません。
◇**市川、相川、秋間**・本日は、参加できずすみません。
◇**池田、伊藤則久、浅川、草間、髙橋光康、滝島、立花、福田、松島**・親睦の皆様、ありがとうございます。
◇**小川**・今日の日帰り旅行を楽しみにしてきました。今日一日よろしくお願いします。
◇**北澤秀彦、瀬沼**・皆様今日は宜しくお願い致します。
◇**鈴木卓**・旅行に皆さんと行けて嬉しいです。今日一日楽しみましょう。
◇**角田**・いつも桑の都をご愛顧たまわり誠にありがとうございます。本日少々酒を持参しました。皆様お召しあがりください。
◇**町田**・よろしくお願いします。
◇**峯尾**・日帰り旅行楽しみにしております。
◇**吉森**・日帰り旅行に初参加させていただきました。よろしくお願いします。
◇**宮原**・瀬沼会員が遅刻をしませんでしたので！
◇**事務局仙田**・本日は大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（順不同・会員敬称略）

東京八王子西ロータリークラブ
〒192-0083 東京都八王子市旭町14番1号
京王プラザホテル八王子 8F
TEL.042-649-3751　FAX.042-649-3753
https://www.hachioji-west-rc.org
会長 山口　覚　幹事 塩野　明
広報委員会　諸星宗幸　浅川立憲　原　巌　原啓一郎
天神敏博　佐山隆一